



平成 25 年 4 月 19 日
 掃水まちづくり協議会
 82号



**第8回協議会総会が
開催されました**

4月14日(日)にJ.A.松阪本店で開催されました。当日は大変お忙しい中、二一六名という沢山の方々のご参加をいただきました。今回参加をされなかった皆さんに「掃水まちづくり協議会」総会の概要を報告させていただきます。
 総会後の「会員の皆様と本部役員の意見交換会」では有意義な意見交換ができ、ありがとうございました。

五・六月の行事予定	掃水小学校運動会・市民体育祭
	5月19日(日)
	雨天の場合 5月25日(土)
	伊勢街道散策
	5月24日(金)
	事前申し込み必要
芸能まつり	
6月9日(日)	
掃水小学校体育館	
市政バスで行く見学会	
6月20日(木)	
事前申し込み必要	

◇25年度役員	
(会 長)	葉山 和則
(副 会 長)	小川 義治
(副 会 長)	安達 正昭
(副 会 長)	脇田 博之
(副 会 長)	橋本 尚委
(副 会 長)	松井 洋子
(副 会 長)	高木 幸子
(書 記)	控井 昇
(会 計・広 報)	今西 暉夫
(会 計 監 査)	高田 勇孝
(願 問)	望月 三佐男
(会 計 監 査)	今井 順子
*各部署部長	
(地域振興部)	間瀬 善樹
(体 育 部)	池田 稔
(健康福祉部)	北岡 幸代
(安全防犯部)	鈴木 則男
(教育文化部)	村居 俊子
(環境美化部)	控井 昇
*自治会代表	
(山 添 町)	松本 孝
(安 楽 町)	近田 順二
(山 下 町)	堀田 国嗣
(伊 賀 町)	小川 義治
(みどり苑)	川北 政敏
(豊 原 町)	久瀬 幸

◇25年度代議員	
(櫛田町)	徳永 喜弘
(清水町)	安達 正昭
(菅生町)	太田 茂
(山添町)	殿本 健
(安楽町)	森田 輝美
	村居 秀夫
	中西 敏男
	大滝 勇
(山下町)	近田 恭一
	横井 久一
	大北 昌弘
(伊賀町)	水谷 宏
	池村 安憲
	山本 芳敬
(みどり苑)	池田 一
	宮木 和之
	高波瀬久也
(豊原町)	迫 忠志
	池田 正司
	高松 和彦
	加藤 正之
	木村 重夫
(櫛田町)	藤原 昭善
	中川 和也
	関岡 正人
	杉田 勉
	小山 正右
(清水町)	中谷 幸一
	飯田 幸一
	池田 良治
(菅生町)	野中 伸宏
	橋本 勝司
	増田 幸一
	中西 勝久

葉山会長あいさつ
「就任2年目に当たって思う事」

総人口の減少が進むと同時に少子化・高齢化が言われ始めて久しい。社会の成長・成熟・安定がもたらす結果の一つとして人類の歴史に照らしても決して予想出来ない事では無く当然の事と考えられる。むしろ問われるべきはそれ(人口減少・少子化・高齢化)がもたらすであろう問題・課題に対する検証・分析・見通しが甘く又有効な手が打てなかつたと言う厳然たる事実である。

その結果、「地域活力・住民力の低下」・「経済活動(生産力・消費力の低下)」・「医療・介護・保険等の費用増加」等となり結果として入税収減少V・入福祉予算の不足Vをもたらし引いては入行政サービスの減少と品質低下Vに直結する事になる。この事態に的確に対応・対処して地域の安全・安心・安定を担保し行政サービスの向上と品質確保に努めるのは第一義的には行政と協議会の仕事で有ると言う事は言を待たない。

その上で体制・制度・組織・システム等の運営・運用を現状のまま続ける限りこの問題・課題の解決は不可能だとの認識・意識を行政・議会は勿論「松阪全市民が共有」する事がこの事態打開の出発点になると思う。平成24年4月に松阪市の全域(43地域)に設置された住民協議会即ち「43住民協議会体制」はこの打開策第一弾と考えられる。

さて「掃水まちづくり協議会」は発足8年目を迎えました。この間ご協力、ご尽力頂きました役員始め全ての関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

今年度は過去7年間の実績を基に更に一歩踏み込んで「43住民協議会体制」の一員として地域の特色を守りつつ上述の問題・課題解決の為「何を為すべきか」・「何が出来るか」の問題意識を役員は勿論、代議員、そして全会員の皆様にお持ち頂き、これを推進力として協議会運営に当たって参りたいと思えます

具体的な一例として「地域課題等に関する意識・認識」をお伺いするアンケートを実施し、地域の課題・問題の解決と将来計画作成に活かして行きたいと考えております。「会員の皆様の参画」としてご協力頂きます様この機会にお願い申し上げます。

以上色々申し上げて参りましたが何を実践するにも、まちづくり協議会のみでは不可能な事は言うまでも有りません。「既存の関連団体(自治連合会等)」と「行政組織」とが八三位一体協働体制Vを確立し、問題・課題に対する意識と認識を共有しつつ「役割と責任」を果たして行く所存で御座います。関係の皆様のご理解・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

協議会即ち「43住民協議会体制」はこの打開策第一弾と考えられる。さて「掃水まちづくり協議会」は発足8年目を迎えました。この間ご協力、ご尽力頂きました役員始め全ての関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成25年度事業計画

重点的な取り組み

- 1.各事業について検証・分析・反省を行い費用対効果のある事業とする。
- 2.従来のやり方にとらわれず、新たな試みを取り入れ、より活力のある事業計画をする

担当部会	事業内容
1 総務部	<ul style="list-style-type: none"> ・皆で作る掃水まちづくり協議会「たより」の発行 ・ホームページの充実・更新・管理 ・郷土文化歴史研究プロジェクトの活用 ・まちづくり将来計画の策定 ・部会活動支援隊の拡大
2 地域振興部会	<ul style="list-style-type: none"> ・掃水夏まつり ・安全性の向上を図るため、提灯用の電線の整備 ・演技発表のあり方について検討する ・より多くの住民が参加できるように工夫をこらす
3 体育部	<ul style="list-style-type: none"> ・市民体育祭(5/19) ・親子球技大会(6/16) ・グランドゴルフ(9/8)(雨天時はCCリング) ・凧をあげよう(1/5) ・ふれあいウォーキング(1/26) ・老人会スポーツ ・市健康推進課との連携で住民の健康増進に取り組む
4 健康福祉部	<ul style="list-style-type: none"> ・食育体験事業 ・ジャガイモ植え(8月) ・ジャガイモ収穫祭(11月) ・「おやつ作り教室(11月) ・ヘルシークッキング(12月) ・健康講座 ・他事業への参加(夏まつり、文化祭、クリーン作戦)

担当部会	事業内容
5 安全防災部	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛田地区防災訓練(10月) ・各地区の自主防災隊との連携、AED講習会、起震車体験、防災講話を計画 ・青色パトロール隊 ・東部地区防災ネットの推進 ・防災体制の強化 ・リヤカー設置、防災士養成
6 教育文化部	<ul style="list-style-type: none"> ・「芸まつり」(6/9) ・地域住民と学校との交流を図る ・文化祭(11/16-17) ・公民館・小学校との協働による開催 ・親子ふれあいスポーツ教室(5月、11月、2月) ・講演会(6月、10月) ・あいさつ運動
7 環境美化部	<ul style="list-style-type: none"> ・櫛田川クリーン作戦 ・環境意識を高め、住みよいまちづくりをする ・花いっぱい運動 ・幼稚園と老人会で実施 ・ごみ講習会 2回 ・松阪市3Rサポーター活動への参加 ・草刈り十字軍(12月)

5月31日までに、電話または直接 掃水まちづくり協議会事務局(☎28・2675)まで参加者氏名と連絡先電話番号をお知らせください。



- ◆定員・・32名
- ◆費用・・無料
- ◆申込方法

阪本店解散
 阪市清掃工場・リサイクルセンター見学
 11時20分 J A 松

- ◆日程・・9時 J A 松 阪 出 発
- 9時〜10時50分 松
- ◆とき・・6月20日(木)午前中
- 雨天決行

私たちが出した資源ゴミは、もう一度人手で選別されています。自分が出した資源ゴミがどのように処分されるか、自分たちのできる分別方法を考えてみませんか？

市政バスで行く見学
 第一清掃工場
 リサイクルセンター

「掃水地区の日」は

4月24日(水)・5月29日(水)

当日のみ有効
 この案内と1,000円以上お買い上げの方に

20ポイントプレゼント

Aコープくしだ

営業時間 10時〜21時(日曜日のみ9時オープン)

毎月最終水曜日は「掃水地区の日」

伊勢街道散策

郷土文化歴史プロジェクトの催しに参加しませんか？

*日時・・5月24日(金)

13時30分 出発

*行程・・伊勢街道(伊賀町より)

枕山(奥田三角碑見学)―対馬屋

(旧家見学) (約2・5km)

*参加申込み

5月17日までにまちづくり協議会(☎28・2675)へ

*参加費・・無料

